

川をテーマにした総合学習、理科などの授業への支援

遠賀川河川教育研究会では、会員の先生方を中心に、川をテーマにした総合学習、理科などでの授業への支援を行いました。

1. 総合学習（水生生物・水質調査）

○日 時：平成19年10月15日（月）10時～12時
17日（水）8時45分～15時00分

○場 所：勘六橋上流の遠賀川（15日）
遠賀川源流・上流（17日）

○参加者：直方南小学校4年生（12名）

○内容等：1学期から開始した「わたしたちの遠賀川」の学習の一環として、実際の川に入り、遠賀川の現状を知り、自分たちが出来る事を考える。

（スケジュール）

10月15日（月）

10：00～11：15 勘六橋上流の遠賀川にて水生生物調査を実施。

（タニシ、ミスムシ、サカマキガイなどがとれ、水質は「きたない水」となった。）

11：30～12：00 水質検査（色・臭い・透視度・COD）

10月17日（水）

8：45～10：00 マイクロバスにて遠賀川の源流に移動

（途中 鮭神社（嘉麻市）に立寄る）

10：00～11：35 源流にて「水質検査（色・臭い・透視度・COD）を実施。

11：35～12：35 （源流から小石原民芸村に移動し昼食）

12：35～12：50 移動

12：50～13：50 遠賀川上流にて水生生物調査

（サワガニ、ヒラタカゲロウ、カワニナなどがとれ、水質は「きれいな水」となった。）

13：50～15：00 小学校へ移動、解散



（勘六橋上流での水生生物調査）



（遠賀川源流地点）



（遠賀川上流での水生生物調査）

2. 小学校5年生 理科「流れる水のはたらき」

- 日時：平成19年10月25日（木） 9時45分～10時30分
- 場所：直方市立上頓野小 校庭
- 授業内容 流水模型（可搬式）を使い実験

①流水模型で直線の川を造り、少しずつ水の量を増やす。

（流れる水の働きを観察させる：ものを「運ぶ」「削る」「積もらせる」）

「運ぶ」：上流で削られた砂が下流に流される。

「削る」：最初細かった溝が、削られて、太く、深くなる。

「積もらせる」：上流から流された砂が、下流付近に堆積する。



②流水模型で曲がった川を造り、カーブの外側と内側の違いを観察。

「内側」：流れが遅く、砂が積もる。

「外側」：流れが速く、砂が削られる。



③流水模型で洪水を起こし、流れる水のはたらきが増す事を学ぶ。

（模型の木や家が流される様子を観察し、護岸や堤防の役割を説明。）



授業の様子



説明用パネル